

道路工事保安施設設置基準

令和5年6月

川崎市建設緑政局

1 目的

本基準は、川崎市土木工事共通仕様書等で定める道路工事保安施設における標準様式図、設置標準図等を示すものである。なお、本書に定めるもののほか、発注者及び道路管理者が指示する事項については、これに従うものとする。

2 交通保安施設における準拠基準

道路工事現場における標示施設等の設置基準

(昭和 37 年 8 月 建設省道発 372 号 道路局長通達)

道路工事現場における標示施設等の設置基準の一部改正について

(平成 18 年 3 月 国道利第 37 号 国道国防第 205 号)

道路工事保安施設設置基準 (昭和 47 年 2 月 道路局国道第 1 課)

道路工事現場における工事情報板及び工事説明看板の設置について

(国土交通省道路局路政課長、国道・防災課長通知 平成 18 年 3 月 国道利 38 号 国道国防第 206 号)

3 適用

川崎市建設緑政局及び各区役所道路公園センターが発注する工事に適用する。

目次

保安施設設置標準図一覧表	2
保安施設等の設置目的	3
保安施設標準様式図	4
保安施設設置標準図	8
参考 標示板の標示例	19

保安施設設置標準図一覧表

呼称	適用条件（例示のない場合、適用条件類のものに準じて処理のこと。）			
	工 種	車道幅員	昼夜別	摘 要
A型	車道打換え・オーバーレイ・AS注入	4車線以上	夜間作業 (昼間作業)	局部打換も含む
B型	車道打換え・オーバーレイ・AS注入	4車線未満	同上	〃
C型	車道打換え・オーバーレイ・AS注入	4車線以上	同上	〃
D型	中央分離帯修理、設置	—	同上	
E型	歩道工事	—	同上	
F型	ガードレール、標識、街渠等の設置修繕	—	同上	
G型	除草、ガードレール等の人力清掃、路肩整備	—	昼間作業	
H型	路面及び側溝の人力清掃	—	同上	
I型	目地シール作業等（短時間作業）	—	同上	
J型	レーンマーク作業	—	同上	
迂回路 標示	迂回路標示	—		

保安施設等の設置目的

施設	記号	交通の誘導	立入防止	場所の明示予告	交通指導	その他	備考
工事中照明灯				○			
保安灯	■ (⑥)	○		○			
歩道柵	 (⑦)		○	○			
バリケード			○	○			
矢印板		○					
保安員						○	
交通整理員		○					
クッションドラム						○	必要に応じて設置
体感マット						○	必要に応じて設置
交通誘導ロボット		○					必要に応じて設置
カラーコーン	○	○	○	○			
表示板（工事予告）	①			○			
警戒標識	②			○			
規制標識（311-F）	③	○			○		
規制標識 速度落とせ看板	④				○		
表示板 （工事中看板）	⑤					○	
工事中 （内部照明型）	⑧	○					
警戒標識	⑨	○			○		
〃	⑩	○			○		
歩行者案内板	⑪		○				
停止線標識	⑫				○		
信号機	⑬				○		
段差予告板	⑭			○			
段差標示板	⑮			○			
工事情報看板	⑯					○	
工事説明看板	⑰					○	
工事予告看板	⑱			○			
迂回路標示板	-	○					

保安施設標準様式図

番号	1	2	3	4
記号	①	②	③	④
名称	標示板(工事予告)	警戒標識	規制標識(311-F)	規制標識速度落とせ看板
様式 および 標準寸法 (単位 mm)				
注	(1)高輝度反射式とする。 (2)転倒しないように留意して設置すること。	(1)高輝度反射式とする。 (2)転倒しないように留意して設置すること。	(1)拡大率1.5倍を標準とするが場所によって1.0倍または1.3倍を用いることができる。 (2)夜間は内部照明とする。 (3)転倒しないように留意して設置すること。	(1)高輝度反射式とする。 (2)転倒しないように留意して設置すること。

番号	5	6	7
記号	⑤	⑥	⑦
名称	標示板(工事中看板)	保安灯	歩道柵
様式 および 標準寸法 (単位 mm)			
注	(1)色彩は、「ご協力をお願いします」等の挨拶文「〇〇〇〇工事」等の工事種別については青地に白抜き文字、「〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字。その他の文字及び線は黒色、地は白色とする。 (2)線の余白は2cm、縁線の太さは1cm、区画線の太さは0.5cmとする。 (3)工事期間、時間帯については、交通上支障を与える実際の期間のうち、工事終了日、工事時間帯を標示するものとする。 (4)「〇〇工事」には「舗装工事」、「共同溝工事」等と記載する。 (5)高輝度反射式または同等以上のものとする。 (6)転倒しないように留意して設置すること。	(1)転倒しないように留意して設置すること。	(1)柱およびロープは黒黄の縞をほどこすものとする。 (2)ロープの外径は12mm以上とする。 (3)柱間隔は約5mとする。 (4)転倒しないように留意して設置すること。

番号	8
記号	㊸
名称	工事中(内部照明型)
様式 および 標準寸法 (単位 mm)	
注	<p>(1) 内部照明とし、矢印は順次点滅させる。</p> <p>(2) 警戒標識、規制標識は1.0倍とする。</p> <p>(3) 「〇〇工事中」には「舗装工事中」、「共同溝工事中」と記載し、「道路工事中」とは記載しない。</p>

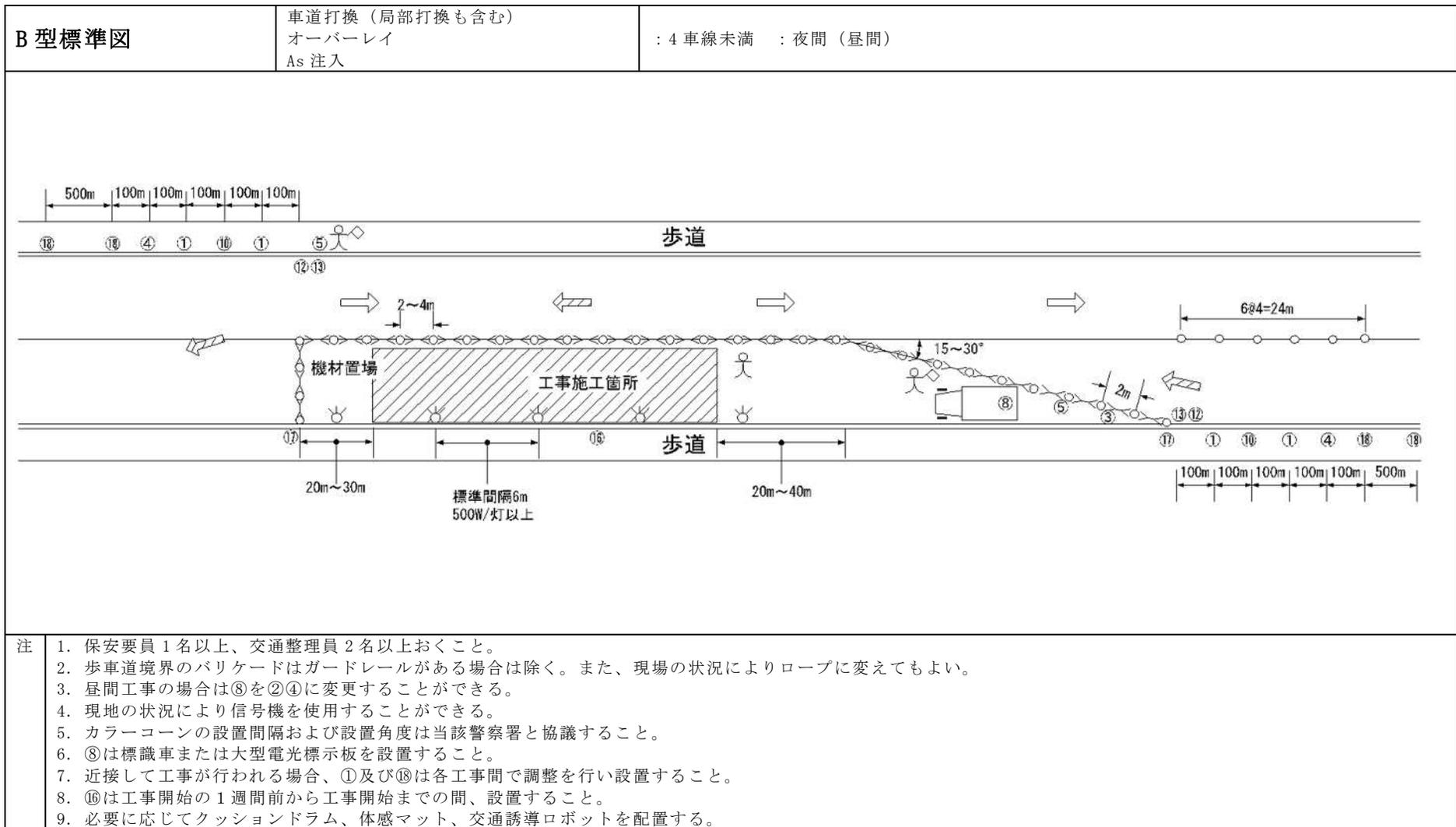
番号	9	10	11	12
記号	㊹	㊺	㊻	㊼
名称	車線数減少	片側交互通行	歩行者案内	停止位置
様式 および 標準寸法 (単位 mm)				
注	<p>(1) 高輝度反射式とする。</p> <p>(2) 実際の規制に合わせた図とする。</p> <p>(3) 転倒しないように留意して設置すること。</p>	<p>(1) 高輝度反射式とする。</p> <p>(2) 転倒しないように留意して設置すること。</p>	<p>(1) 高輝度反射式とする。</p> <p>(2) 転倒しないように留意して設置すること。</p>	<p>(1) 高輝度反射式とする。</p> <p>(2) 路面に停止線を設ける。</p> <p>(3) 転倒しないように留意して設置すること。</p>

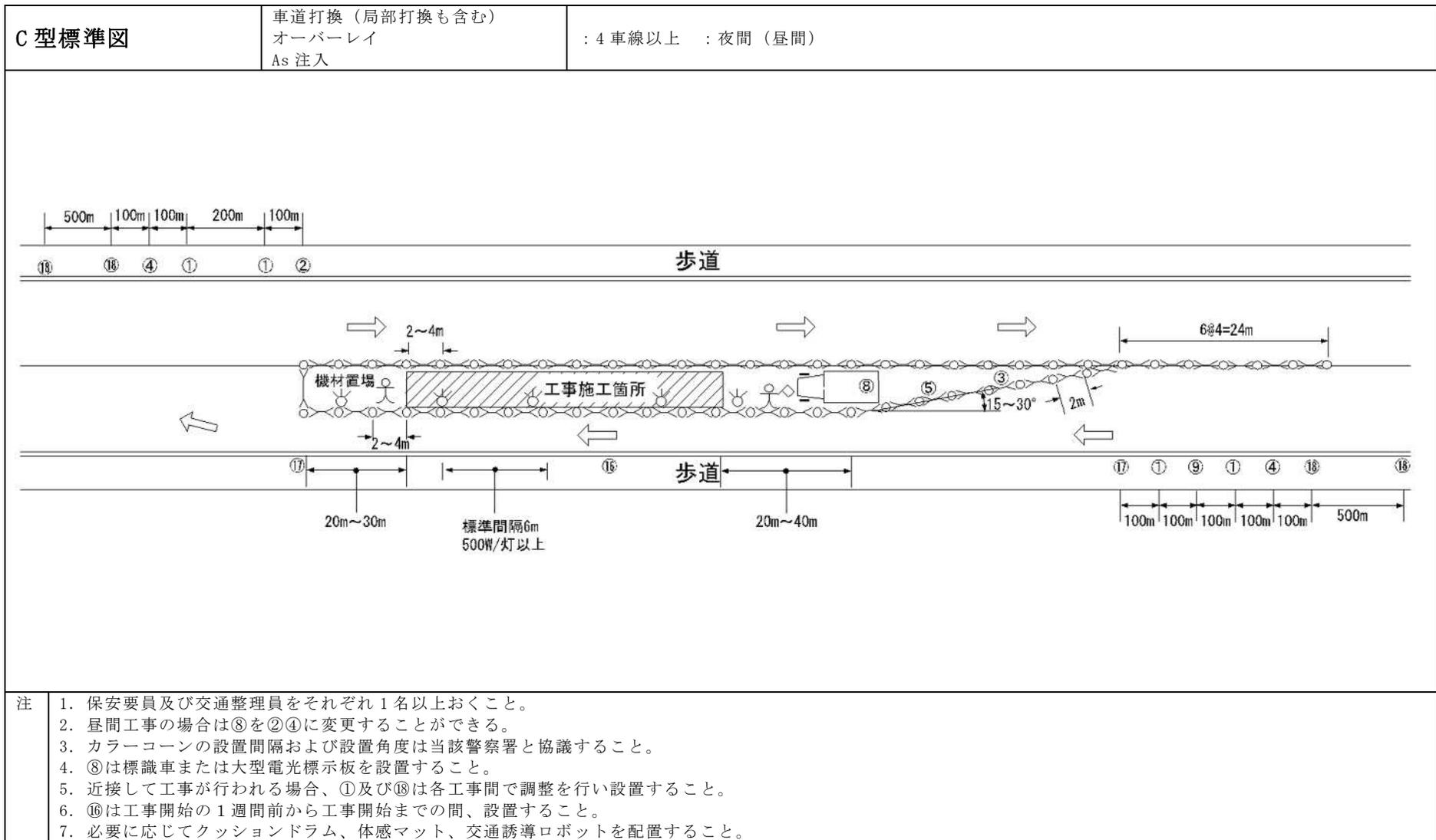
番号	13	14	15
記号	⑬	⑭	⑮
名称	信号機	段差予告	段差標示
様式 および 標準寸法 (単位 mm)			
注	(1) 転倒しないように留意して設置すること。	(1) 50m から 150m 手前に設置する。 (2) 高輝度反射式とする。 (3) 転倒しないように留意して設置すること。	(1) 段差箇所を設置する。 (2) 高輝度反射式とする。 (3) 転倒しないように留意して設置すること。

番号	16	17
記号	⑯	⑰
名称	工事情報看板	工事説明看板
様式 および 標準寸法 (単位 mm)		
注	(1) 色彩は、「○○○○をなおしています」等の工事内容については、青色文字、その他の文字及びび線は黒色、地は白色とする。 (2) 工事期間については、交通上支障を与える実際の期間のうち、工事開始日及び工事終了日を標示するものとする。 (3) 工事情報看板の下部に、該当工事に関する番号や問い合わせ先等を掲示することができる。 (4) 現場付近の歩道と車道を分離するガードレール等に、ドライバーから看板の内容が見えないように、建築限界を守って、堅固に設置する。 (5) 道路工事を開始する約 1 週間前から道路工事を開始するまでの間、設置する。 (6) 転倒しないように留意して設置すること。	(1) 色彩は、「ご協力をお願いします」等の挨拶文については青地に白抜き文字、「○○○○をなおしています」等の工事内容については、青色文字、その他の文字及びび線は黒色、地は白色とする。 (2) 工事期間については、交通上支障を与える実際の期間のうち、工事開始日及び工事終了日を標示するものとする。 (3) 工事情報看板の下部に、該当工事に関する番号や問い合わせ先等を掲示することができる。 (4) 現場付近の歩道と車道を分離するガードレール等に、ドライバーから看板の内容が見えないように、建築限界を守って、堅固に設置する。 (5) 道路工事を開始する約 1 週間前から道路工事を開始するまでの間、設置する。 (6) 転倒しないように留意して設置すること。

保安施設設置標準図

A 型標準図	車道打換（局部打換も含む） オーバーレイ As 注入	： 4 車線以上 ： 夜間（昼間）
注	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保安要員 1 名以上、交通整理員 2 名以上おくこと。 2. 歩車道境界のバリケードはガードレールがある場合は除く。また、現場の状況によりロープに変えてもよい。 3. 昼間工事の場合は⑧を②④に変更することができる。 4. カラーコーンの設置間隔および設置角度は当該警察署と協議すること。 5. ⑧は標識車または大型電光標示板を設置すること。 6. 近接して工事が行われる場合、①及び⑯は各工事間で調整を行い設置すること 7. ⑯は工事開始の 1 週間前から工事開始までの間、設置すること。 8. 必要に応じてクッションドラム、体感マット、交通誘導ロボットを配置すること。 	

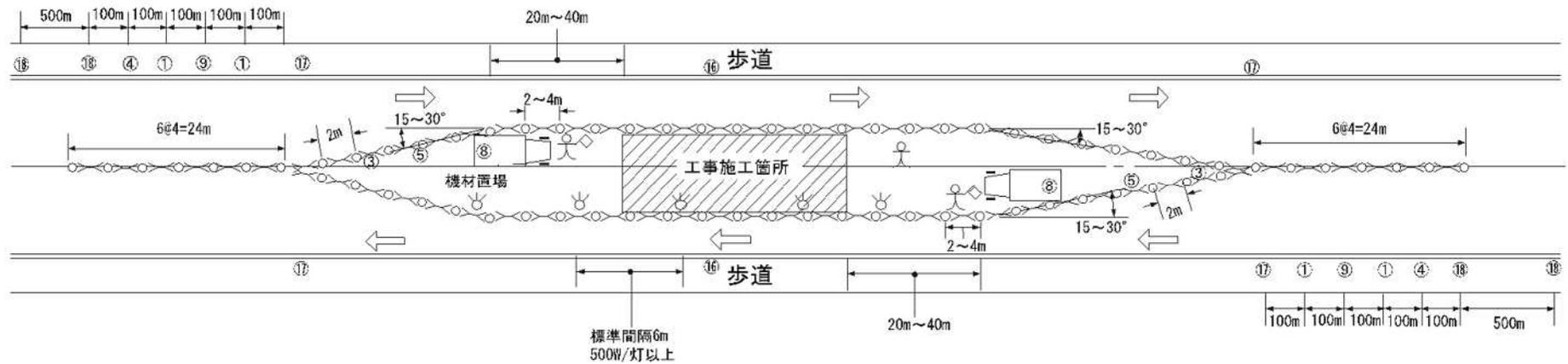




D型標準図

中央分離帯修理、設置

: 夜間 (昼間)

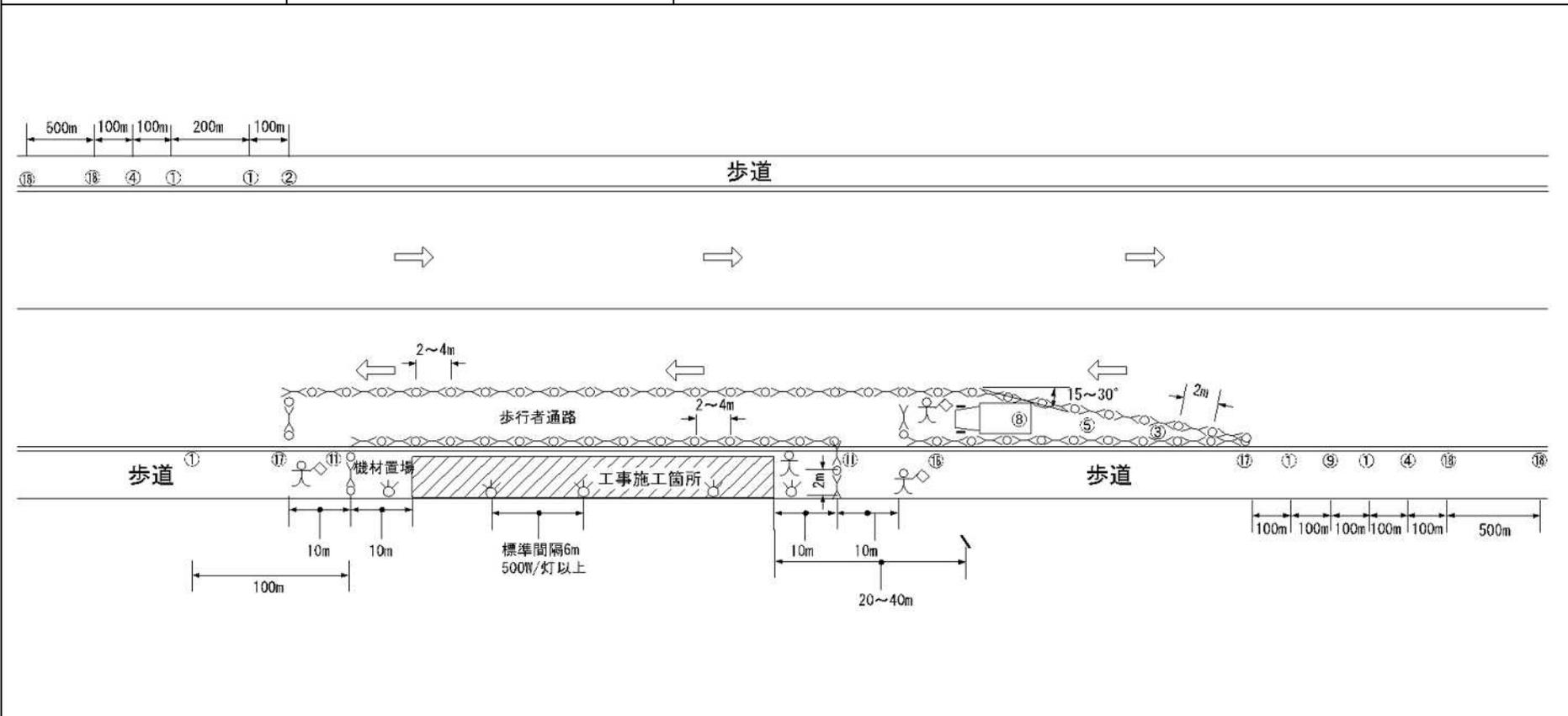


- 注
1. 保安要員 1 名以上、交通整理員 2 名以上おくこと。
 2. 昼間工事の場合は⑧を②④に変更することができる。
 3. カラーコーンの設置間隔および設置角度は当該警察署と協議すること。
 4. ⑧は標識車または大型電光標示板を設置すること。
 5. 近接して工事が行われる場合、①及び⑱は各工事間で調整を行い設置すること。
 6. ⑰は工事開始の 1 週間前から工事開始までの間、設置すること。
 7. 必要に応じてクッションドラム、体感マット、交通誘導ロボットを配置すること。

E 型標準図

歩道工事

: 夜間 (昼間)

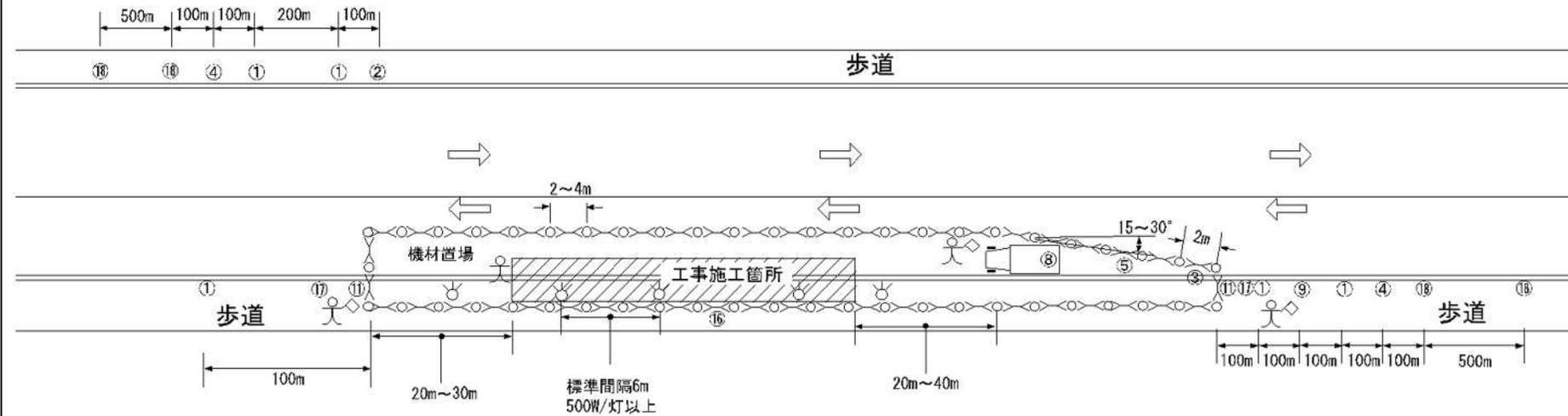


- 注
1. 歩行者通行幅は原則として1.5m以上確保すること。
 2. 保安要員1名以上、交通整理員3名以上おくこと。
 3. 昼間工事の場合は⑧を②④に変更することができる。
 4. カラーコーンの設置間隔および設置角度は当該警察署と協議すること。
 5. ⑧は標識車または大型電光標示板を設置すること。
 6. 近接して工事が行われる場合、①及び⑩は各工事間で調整を行い設置すること。
 7. ⑩は工事開始の1週間前から工事開始までの間、設置すること。
 8. 必要に応じてクッションドラム、体感マット、交通誘導ロボットを配置すること。

F 型標準図

ガードレール、標識、街渠等の設置修繕

: 夜間 (昼間)



- 注
1. 歩行者通行幅は原則として1.5m以上確保すること。
 2. 保安要員1名以上、交通整理員3名以上おくこと。
 3. 昼間工事の場合は⑧を②④に変更することができる。
 4. カラーコーンの設置間隔および設置角度は当該警察署と協議すること。
 5. ⑤は標識車または大型電光標示板を設置すること。
 6. 近接して工事が行われる場合、①及び⑬は各工事間で調整を行い設置すること。
 7. ⑯は工事開始の1週間前から工事開始までの間、設置すること。
 8. 必要に応じてクッションドラム、体感マット、交通誘導ロボットを配置すること

G 型標準図

除草、ガードレール等の人力清掃、路肩整正 : 昼間作業

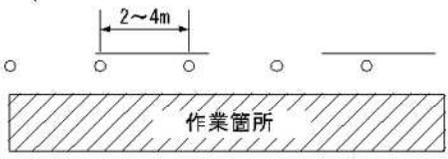
注：標識②③は作業車に張りつけることを原則とする。
「〇〇作業中」は「除草作業中」等と標示する。



歩道

中央分離帯

歩道



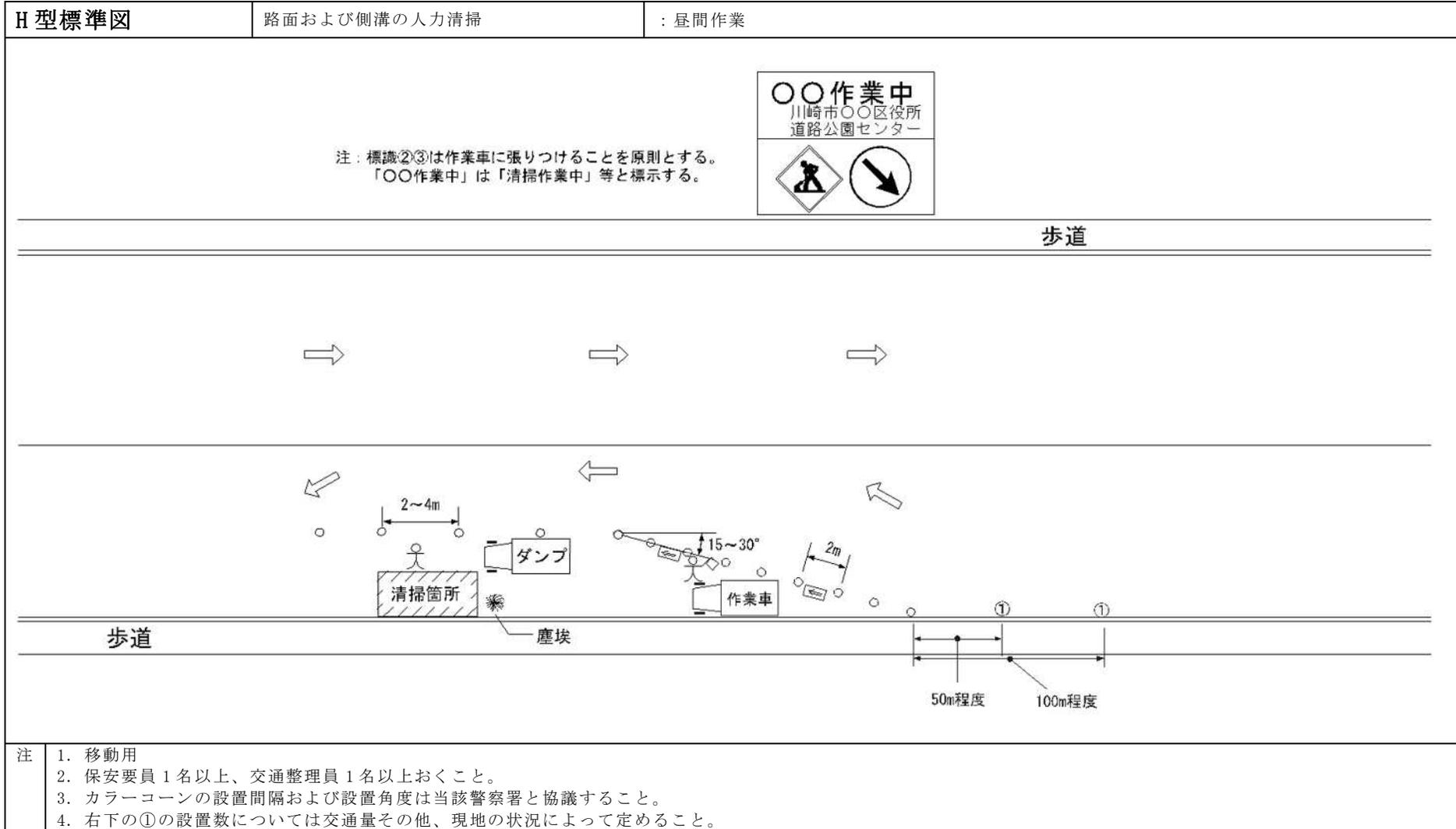
A

50m程度

100m程度

注

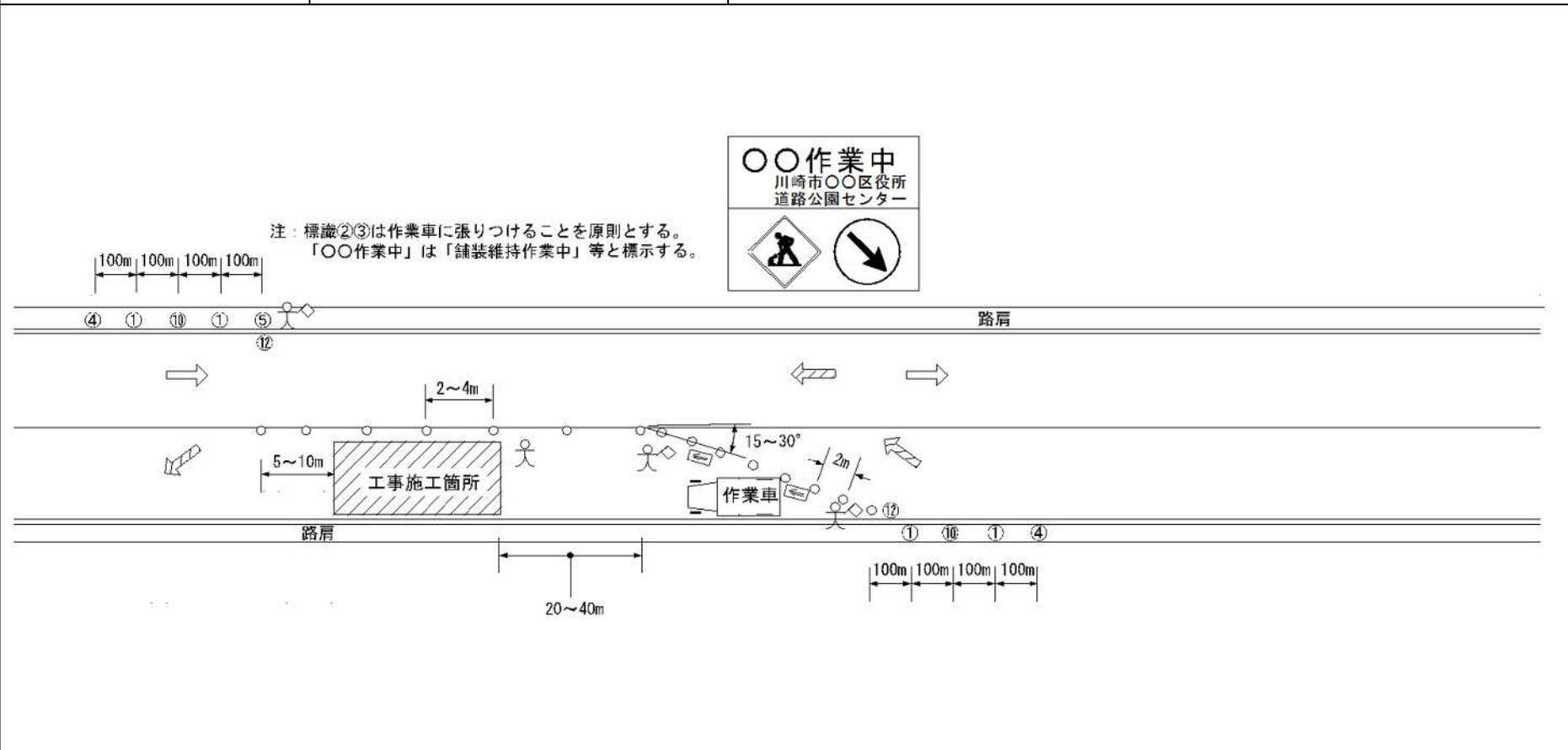
1. 移動用
2. A の距離については通行車両の走行速度及び沿道状況を勘案して確保する。
(A については 30m 程度を標準とする。この範囲に作業員は立ち入らないこと)
3. 保安要員 1 名以上、交通整理員 1 名以上おくこと。
4. カラーコーンの設置間隔および設置角度は当該警察署と協議すること。
5. 右下の①の設置数については交通量その他、現地の状況によって定めること。



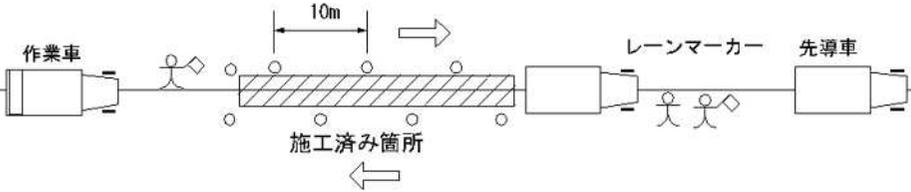
I 型標準図

目地シール作業等（短時間作業）

: 昼間作業

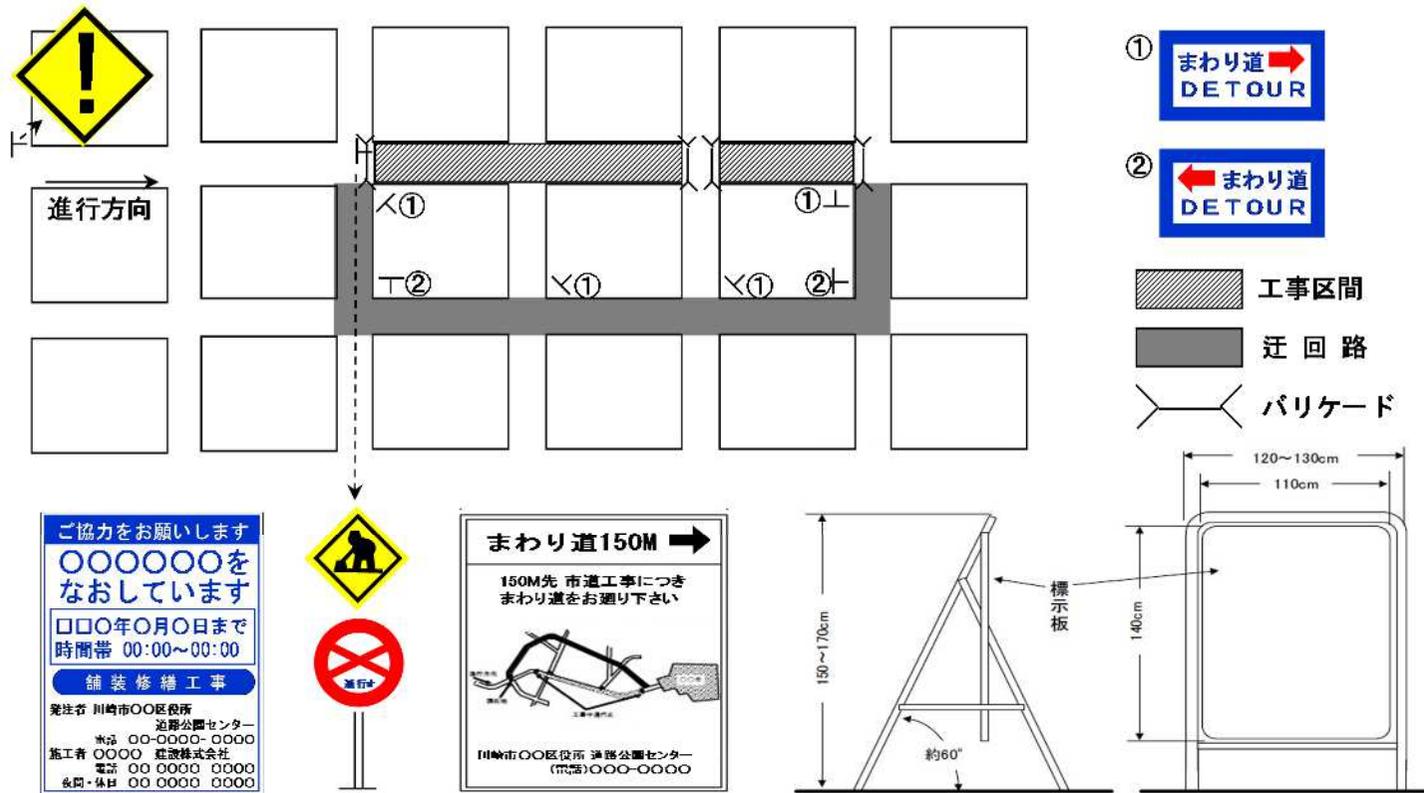


- 注
1. 移動用
 2. 保安要員 1 名以上、交通整理員 3 名以上おくこと。
 3. カラーコーンの設置間隔および設置角度は当該警察署と協議すること。

J 型標準図	レーンマーク作業	：昼間作業
<p style="text-align: center;">注：標識②③は作業車に張りつけることを原則とする。 「〇〇作業中」は「区画線作業中」等と標示する。</p> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  </div> 		
注	<ol style="list-style-type: none"> 1. 移動用 2. 作業実施には原則として警察官立会いの上施工し、広幅員の場合には防護用作業車を使用のこと。 3. 先導車を使用すること。 4. 保安要員 1 名以上、交通整理員 2 名以上おくこと。 5. カラーコーンの設置間隔は当該警察署と協議すること。 	

迂回路標示標準図

迂回路標示



工事中迂回路の標示例（市街地の場合）（進行方向に対する標識の設置例を示す。）

注 1. 迂回路の設定及び交通整理員の配置については、当該警察署と協議すること

参考 標示板の標示例

1)共通

工事種別	工事内容
橋梁工事	〇〇バイパスの橋をつくっています
	渋滞緩和のため橋を広げています
	河川改修にともない橋を架け替えています
舗装工事	〇〇バイパスの舗装をしています
	道路の拡幅のため舗装しています
	堤防を強化するため舗装をしています
盛土工事	〇〇バイパスの盛土をしています
切土工事	〇〇バイパスのため山を切り取っています
擁壁工事	〇〇バイパスの擁壁をつくっています
	路肩を保護するため擁壁をつくっています
除草作業	見通しを良くするため草刈りをしています
植栽管理作業	見通しを良くするため植栽を剪定しています
防護柵工事	転落しないよう柵を設置しています
	安全のためガードレールを設置しています
塗装工事	塗装工事傷んだ塗装を塗り替えています
区画線工事	区画線工事センターラインを描いています
照明灯工事	古くなった照明灯を新しくしています
	カーブが明るくなるよう照明を設置しています
	交差点が明るくなるよう照明を設置しています

2) 道路関係

工事種別	工事内容
道路拡幅工事	渋滞緩和のため道路を拡幅しています
	渋滞緩和のため4車線にしています
	安全のため道路を拡幅しています
交差点改良工事	渋滞緩和のため右折レーンをつくっています
立体交差工事	渋滞緩和のため立体交差にしています
	踏切を無くし立体交差にしています
トンネル工事	〇〇バイパスのトンネルをつくっています
歩道工事	安全な通学路をつくっています
	バリアフリー化しています
	安全のため広げています
舗装修繕工事	傷んだ舗装をなおしています
	騒音を少なくする舗装にしています
	水はけの良い舗装にしています
	水はけの良い歩道にしています
道路修繕工事	傷んだガードレールをなおしています
	傷んだ標識をなおしています
	傷んだ溝をなおしています
橋梁補強工事	地震対策のため橋を補強しています
防災対策工事	落石を受け止める網を設置しています
	落石を受け止める擁壁をつくっています
標識工事	地名や路線名の案内標識を設置しています
雪崩防止工事	雪崩を防止する柵をつくっています
消雪工事	消雪工事雪を溶かす散水パイプを設置しています

3) 河川関係

工事種別	工事内容
護岸工事	川岸が削られないようブロックを張っています
護床工事	川底が掘れすぎないようにブロックを置いています
築堤工事	洪水が氾濫しにくくするため堤防をつくっています
浚渫工事	水が流れやすいようたまった土砂を取り除いています
堤防除草作業	堤防を管理するため草刈りをしています
災害復旧工事	災害で崩れたところをなおしています
堰改築工事	河川改修のため堰を取り替えています
樋管改築工事	河川改修のため管を取り替えています